

ガバナー公式訪問報告書

米子南ロータリークラブ

2019-20 年度幹事 田中康裕

2019 年 9 月 2 日、ANA クラウンプラザホテル米子にて、地区ガバナー：古瀬俱之様、地区庶務幹事：永田数子様、お二人をお迎えして「ガバナー公式訪問」が 開催されました。例会に先立ち 11 時から「会長幹事懇談会」が行われ、坂本会長、奥田次年度会長、佐久間次年度幹事と本年度幹事の田中康裕が出席致しました。古瀬ガバナーより「クラブのサポートと強化」「公共イメージと認知度の向上」など、地区目標の最重点目標、重点目標についてご教示頂き、また、当クラブの活動においては、出席率向上のために、会長・幹事・親睦出席委員長が個別に会員へ事前に電話で例会参加を促されてはどうかという助言も頂きました。またロータリーの友を題材とした IDM の開催、ロータリーとは何かを 45 文字程度で簡潔に説明できるように等、非常に具体的で中身の濃い有意義な時間となりました。

12 時 30 分より同会場にて、ご持参頂いた「日本のロータリー100 周年記念の鐘」の音とともに公式訪問例会を開始。古瀬ガバナーとの RI テーマバナーの交換、記念写真撮影の後、「ガバナースピーチ」を頂きました。スピーチ前にホテルの火災報知器が鳴るというアクシデントがあり一時騒然としましたが、誤報であることが判明し予定通りスピーチを頂くことができました。サンディエゴで行われた国際協議会での研修内容やカラクリ（国際ロータリー マローニー会長のあまりに上手な歌は実は「口パク」だったこと）、そして大谷翔平選手が高校時代に作成していた目標達成用紙を用いて、クラブの中期目標達成計画の作成に応用することでクラブの活性化に繋がる目標の立て方等をご教示頂きました。

最後に永田数子地区庶務幹事より地区大会の PR も頂き、13 時 30 分に終了致しました。

懇談会・例会を通して古瀬ガバナーから頂きましたお言葉、ご助言を参考として、今後のクラブ活動に活かし、米子南ロータリークラブの活性化へつなげていきたいと思えます。